

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	続山 貴美子	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3925		事務事業名称	老人福祉施設整備資金利子補給事業						短縮コード	経常		臨時	3925
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市老人福祉施設整備資金利子補給金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
老人福祉施設の整備推進を図るため、八千代市社会福祉法人助成条例(昭和45年八千代市条例第20号。以下「条例」という。)第5条及び八千代市老人福祉施設整備資金利子補給金交付要綱に基づき、社会福祉法人を対象に老人福祉施設を整備するにあたって独立行政法人福祉医療機構から借り入れた社会福祉施設整備資金に係る利子に対する補給金を交付する。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして						
平成29年度にて償還終了						大項目（節）	03	第3節社会保険						
						中 項 目	02	2. 介護保険						
						小項目（施策）	01	(1)保険サービスの充実						
						細 項 目	03	③施設福祉サービスの充実						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内に老人福祉法第5条の3に規定する老人福祉施設を設置し、独立行政法人福祉医療機構から社会福祉施設整備資金の借り入れを受けた社会福祉法人						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 利子補給金交付対象の社会福祉法人に、福祉医療機構からの借入金に係る利子に対する補給金を交付した。						
	※平成25年度に計画していること： 24年度と同じ。						
意図 （何を狙っているのか）	市内で老人福祉法第5条の3に規定する老人福祉施設を運営する社会福祉法人の安定した資金計画と施設運営を確保し、老人福祉施設の経済的負担の軽減を図る。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	23年度	24年度		25年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	補助対象法人数	法人	4	4	4	4
	指標2	補助対象施設数	施設	5	5	5	5
	指標3	補助対象償還利子額	円	6,589,175	5,432,025	1,358,005	1,068,718
活動指標	指標1	申請法人数	法人	4	4	4	4
	指標2	申請施設数	施設	5	5	5	5
	指標3	申請金額	円	1,647,293	1,358,005	1,358,005	1,068,718
成果指標	指標1	交付法人数	法人	4	4	4	4
	指標2	交付施設数	施設	5	5	5	5
	指標3	交付金額	円	1,647,293	1,358,005	1,358,005	1,068,718
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3925	事務事業名称	老人福祉施設整備資金利子補給事業			所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業者の利子額の償還が終了するまで、補給を行う。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			償還利子額が，年々減額傾向にあるため。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☒	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
無	

所属長コメント	老人福祉施設の経営の健全化を図るために，償還計画においての償還期間が終了するまで，利子補給を行う。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		